

独自ブランドを強化

インバウンドにも対応

ミートコンパニオン

食肉の卸売業をはじめ、貿易事業などさまざまな業、家畜生産ファーム事業を展開するミート・コンパニオン。食肉加工品製造事業、コンパニオン業、外食運営事業、海外 同社では海外市場に向

PREMIUM BEEF
WAGYU
SAMURAI

「WAGYU SAMURAI」のロゴ

を現地で積極的に実施

「WAGYU SAMURAI」のほり、PR を行っていく。

けて日本産和牛の輸出事業にも積極的に取り組んでおり、日本国内のさまざまな産地から厳選された和牛を、同社独自のブランド「WAGYU SAMURAI」として提案している。

すでにタイ、フィリピンに現地法人を設立し、そのネットワークを駆使しながら海外ユーザーに直接販売する仕組みづくりと、日本産ブランドの価値を高めていくような活動に取り組んでいる。

2018年度の海外輸出実績は、前年度比137%と大幅に伸張。政府が推進する輸出促進の取り組みの一環として、カッタ技術者などによる日本産和牛知識向上セミナーやカット方法の実演などを現地で積極的に実施

することで、和牛に対する理解を深めてきた。経済発展が著しいアジア諸国の中でも、同社が今後の輸出先としてとくに期待をかけているのが台湾市場だ。台湾向けの和牛輸出については、17

用ボスターなどを掲示。さらに現地の量販店や外食店関係者に和牛に関するき取りなどを行い、現地日本料理店や日系企業関係者も数多くブースを訪れた。

順調に推移しており、現地でも日本産和牛の裾野は広がっている。

同社は昨年、台北市内で開催された台湾最大規模の台北国際食品見本市で、日本畜産物輸出促進協議会ブース内の一角に

「WAGYU SAMURAI」の提案に注力していく。

現地協力企業とともに出現。日本産ブランドの価値を高めていくような活動に取り組んでいる。

「WAGYU SAMURAI」をPRし、台湾国内での認知度を向上を図るとともに、現地協力企業との連携強化を図り、現地顧客拡大へ向け

また、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催が来年に迫っているが、同社では国内市場でも訪日外国人が増加する中で、インバウンド需要の高いホテル・レストランへの提案販売を強化する方針だ。しゃぶしゃぶ、すき焼きなどの外食業態向けに和牛、交雑種を原料として使用したボーション製品の提案

「WAGYU SAMURAI」のほり、PR を行っていく。

「WAGYU SAMURAI」のほり、PR を行っていく。

「WAGYU SAMURAI」のほり、PR を行っていく。